

【会員放談】 保谷英雄会員

テーマ；あれから 50 年 25 歳の旅行記

昭和 48 年（1973 年）7 月に羽田からアンカレッジ経由でヨーロッパへ。成田はその 5 年後、昭和 53 年に開港。（なお、成田空港はまだ未完成だが、中国は数年で巨大空港を整備する。34 歳の時に上海に行ったが、54 歳で再度行った時には激変していて巨大空港が出来ていた。34 歳の時汽車で行った蘇州まで高速道路が整備され、蘇州も企業団地整備中だった。また、プロバスで 2013 年に上海へ行った時には高層ビルが林立していて更に驚いた。当時のことを知る人も森山さん、松下さん、保谷のみとなった。）

1973 年、機内ではまだ喫煙可能であった（売上 No. ONE はハイライト 60 円からセブンスター 70 円へ移行した頃）。

旅の話に入る前に 1973 年当時を振り返ってみたい。

社会；金大中事件（8/8） 尾崎玲於奈氏ノーベル物理学賞（10/23）

スポーツ；第 1 回世界女子ゴルフ選手権大会樋口久子優勝（4/8）日本シリーズ巨人軍 9 年連続優勝（11/1）

歌；神田川（当時アパートに風呂なし）・なみだの操（今では差別と言われる）

出版物；日本沈没（小松左京）・ノストラダムスの大予言（五島勉）⇒20 世紀末の予言「2000 年問題」も無事に通過した。 **映画**；仁義なき戦い・恍惚の人 **テレビ**；北の家族・刑事コロンボ・国盗り物語

ブーム；ゴルフ（色々あった）・超能力・ツチノコ **流行語**；ドリフの「ちょっとだけよ」、加藤茶の他、今や生存者は高木ブーだけ。「じっと我慢の子」しとしとピッチャンの大五郎も、今や 53 歳のお父さん。当時 EU はなく、1 ドル 308 円 タクシー初乗り 170 円～180 円 入浴料 55 円 こんな時代でした。

さて、配布した旅行記から印象に残っている点を、掻い摘んでお話したい。

まず 2 頁「水の話」；欧州は硬水で軟水の日本と異なり、水当たりする。飲み水はジュースやビールと同料金。名水が多い日本とは違う。アフリカや中国も水不足。コップ一杯の小用に 5 杯の水を流すトイレを使う日本は極めて贅沢な国だが、中国人が水源地の土地を購入しても心配していない。法整備が必要と思う。日本は半導体生産に後れを取ったが、水が豊富な我が国はこの点で優位。やっとな九州（熊本）での生産基地整備が決まった。

次に 5 頁「高速道路の話」；ドイツのアウトバーンは 30 年も前に整備されたが、日本は当時やっとな整備開始の時代であった。整備費償却後は無料になるはずであったが、維持費に経費が掛かるので無料にはならない。むしろ料金値上げが待っている。

次は 7 頁「電話と数字の話」；ヨーロッパでは、7 には なか棒 を入れるが、「7」と書いたらフロントが「1」と解釈して不通になり、再度かけることになった。最近は、国際電話をケイタイで顔を見てしているので、外国に来ているとは思えない時代になった。

9 頁「水の都ベニス」；東京駅の近辺も以前は湿地で、丸太の杭を打ち込んだそうだが、ベニスは何万、何千の丸太で土台が出来ているようだ。けれどもこの土台もあやしくなっており、いずれ水没の危機に晒されている。中央広場が洪水で水浸しになったことは有名だ。

11 頁「フローレンスでの食事」；前菜のパスタが美味しくてお替りしたが、その後更に良い料理が出て残念なことをした。訪米人は大食するが、日本人並みにすれば食糧不足は解消されるのではないか。それでも日本で「ギャル曽根」などの「大食い競争」が流行っていて、50 年前のモーレッツ社員の時代「24 時間働けますか」「分かっちゃいるけど止められない」「どうする企業戦士」から、「ゆとり」の時代への移行はまだまだ先かなと思う。ちょうど時間となりましたので以上とします。